

平成31年度(令和元年度) 京都府立東舞鶴高等学校浮島分校 学校経営計画 (スクールマネジメントプラン) (実施段階)

学校経営方針 (中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点 (短期経営目標)
<p>☆夜間定時制高校としての役割を果たし、地域を支える勤労青少年の育成を目指す。</p> <p>1 日々の授業を大切にするとともに、学習指導・進路指導・生徒指導の3つを一体的にとらえ、きめ細かい丁寧な指導を行うことにより学力を向上させ社会を生き抜く力を身につける。</p> <p>2 生徒一人ひとりが家庭・地域社会で認められ、学校生活の様々な場で成就感・達成感を持てる学校を目指す。</p> <p>3 教師と生徒が共同し、基本的な規範意識と倫理観、公共心や思いやりなど、人間性・社会性を育むとともに、安心・安全な学校づくりを目指す。</p>	<p>(成果)</p> <p>1 年間を通して学校全体が落ち着いた状態を保つことができ、目立った問題行動は少なく、授業には落ち着いた態度で臨むことができていた。</p> <p>2 授業支援者や他教科教員の授業サポートにより学習に困り事のある生徒の支援ができ、一定の成果が上がっている。</p> <p>3 校内漢字検定に意欲的に取り組み、設定した合格目標ラインを大きく越える結果となった。</p> <p>4 積極的に行事に参加する生徒が増えた。前年よりも生徒会が主体となって行事に取り組むことができた。</p> <p>5 低学年における進路学習により、進路に対する意識が高まった。</p> <p>(課題)</p> <p>1 主体的な学習参加の促進と学力の定着</p> <p>2 学習指導の工夫・改善</p> <p>3 規範意識の向上と好ましい態度の育成</p> <p>4 生徒の自立支援に対する指導</p> <p>5 授業規律確立に向けた継続した指導</p> <p>6 効果的な指導による希望進路の実現</p> <p>7 保護者と連携した効果的な指導</p> <p>8 支援を要する生徒の増加に応じた体制づくり</p>	<p>1 基礎・基本を重視した学習指導の充実</p> <p>(1) きめ細やかな学習支援を行なうとともに主体的な学びを促し、基礎学力の向上を図る。</p> <p>(2) 達成感や自己肯定感・自己有用感が実感できるように学習指導の工夫・改善を図る。</p> <p>2 コミュニケーションを大切にした生徒指導の充実</p> <p>(1) 生徒の内面や生活状況等を把握し、適切なアドバイスを心掛け、好ましい態度の育成を図る。</p> <p>(2) 人権感覚や規範意識の高い、自立した社会人の育成を目指す。</p> <p>3 生徒一人ひとりの個性を尊重した教育活動の推進</p> <p>(1) 安心・安全な学校を築き、生徒の主体的な活動を引き出す。</p> <p>(2) 卒業後の進路を見据えた進路指導を充実させる。</p> <p>4 家庭・地域から信頼される学校づくりの推進</p> <p>(1) 保護者との連絡を密にし、保護者と連携して課題解決にあたる。</p> <p>(2) 様々な機会を捉えて情報発信に努めるとともに、地域の関係機関等との連携を図る。</p> <p>(3) 生徒各々に応じた適切な支援を充実させる。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題	
基礎・基本を重視した学習指導の充実	きめ細やかな学習支援を行なうとともに主体的な学びを促し、基礎学力の向上を図る。	授業補助員と協力して授業規律を確保し、生徒一人ひとりが意欲的に学ぶ姿勢を持つよう支援する。	B	B	B	<p>苦手意識の強い生徒が多く、個々のレベルにあわせて「できる喜び」を感じられるよう、誉めたり、励ましたりしながら、教科指導の工夫を補助員と協力し、取り組んだ。担任と教科担当との連携は密に行えているものの、学習内容の定着は十分ではない。さらに指導方法の工夫が必要である。</p> <p>TTを活用した指導では、少人数の利点を活かして、気づきに主眼を置いた学習を進めることができた。</p> <p>校内漢字検定では、学年によって目標に向かう意識に差がある。一つ一つの段階を大切にさせたい。</p>	
		成績不振の生徒や欠席過多の生徒の状況を把握し、担任と教科担当者が常に情報共有を図り、生徒のニーズに応えられるよう指導する。	A				
		基礎的・基本的な問題演習に多く取り組み、小テストなどを反復することにより学習内容を定着させる。	B				
	達成感や自己肯定感・自己有用感が実感できるように学習指導の工夫・改善を図る。	段階を踏まえた学習内容を実践することにより、達成感を感じさせる授業を行う。	B				B
		「主体的・対話的で深い学び」の視点で生徒が活動できる授業に取り組み、自己肯定感を持たせる。	B				
		校内漢字検定を利用し目標に向かう意欲を高め、達成感を持たせる指導に取り組む。	B				
コミュニケーションを大切にした生徒指導の充実	生徒の内面や生活状況等を把握し、適切なアドバイスを心掛け、好ましい態度の育成を図る。	面談だけでなく日常の会話を大切にしながら、生徒一人ひとりの理解に努める。	A	B	<p>生徒とのコミュニケーションは全教職員が大切にしている。</p> <p>指導者と関わりを持つとする生徒がいる一方で、コミュニケーション能力の低い生徒や、自己主張が強い生徒がいて、ルールやマナーの指導には苦心しており、さらなる工夫と努力が必要である。</p> <p>人権感覚を高めるために外部講師を招聘し、広い視野から物事を考える態度を持たせたい。</p>		
		自分のペースだけでなく、周囲の生徒たちのペースも大切にしようとする姿勢を育てる。	B				
		あいさつやルール・マナー指導を通して、社会性を身につけさせるよう取り組む。	C				
	人権感覚や規範意識の高い、自立した社会人の育成を目指す。	生徒の実情に即した人権教育を実施する。	B			B	
人権を尊重する姿勢や差別を許さない態度を育成する。	C						

生徒一人ひとりの個性を尊重した教育活動の推進	安心・安全な学校を築き、生徒の主体的な活動を引き出す。	学校生活を安心して送れるよう、危険な箇所をなくしたり心地よく過ごせる空間を作ったりする。 ----- 集団の中での自分の役割を見つけ、生徒全員が参加できるような行事を工夫する。	A ----- B	B	B	比較的落ち着いた状態を保持できており、生徒が安心できる状態になっている。ハード面では校舎の老朽化が進み、危険箇所の点検を心掛けている。校内美化が進める一方、ゴミ問題への取組が必要である。 進路に対する見通しが弱い生徒も多く、低学年からの指導に取り組んだ。
	卒業後の進路を見据えた進路指導を充実させる。	卒業後の方向を具体的に示して将来の展望を持たせる。 ----- 希望する進学・就職に向けて、模擬試験等を実施しその結果を分析し、個に応じた指導に取り組む。	A ----- B			
家庭・地域から信頼される学校づくりの推進	保護者との連絡を密にし、保護者と連携して課題解決にあたる。	家庭訪問、家庭連絡等により成績や出席状況の連絡を密に行い、原級留置・中途退学の防止に努める。 ----- 面談等を通じて情報提供と相談を行い、保護者と共に生徒の希望進路の実現を図る。	A ----- A	A	A	複雑な家庭事情を持った生徒が多く、保護者に対してもきめ細かな対応を必要とすることがある。些細なことであっても担任を中心として連絡を密にするように取り組んできた。 学校の行事等を機会ある毎にHP等で知らせているが、学校に対する関心が低く、あまり活用できているように思わない。 小規模校の利点を活かし、生徒一人ひとりのアセスメントを丁寧に行い教育活動を実践しようとする姿勢を教職員全員が共有できていた。そのため、生徒の個々の状況にあわせて対応することができている。
	さまざまな機会を捉えて情報発信に努めるとともに、地域の関係機関等との連携を図る。	学習の様子や行事での姿をホームページなどを通して紹介していく。 ----- 地域人材を活用し地域との接触を深めることで、社会性を身につけさせていく。	B ----- C			
	生徒各々に応じた適切な支援を充実させる。	学年、分掌、教科等が、密に連携をとり、生徒一人ひとりの状況を把握し専門機関と相談しながら合理的配慮に基づく支援を行う。 ----- 個々の生徒が持つ困り感を把握し、その解消に複数の教員で取り組む。	A ----- A			

<p>学校関係者 評価委員会 による評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さまざまな学力課題がある生徒に対して、「基礎・基本を重視した学習指導」において生徒のニーズに応えた指導を実践している点は大いの評価できる。</li> <li>・ 授業を参観すると、大半の生徒が積極的に授業に参加し、主体的・対話的な学びが推進されていることを感じる。授業改善はもとより、生徒との信頼関係の構築が促進された成果だと思う。</li> <li>・ 発達的な課題を持つ生徒に対する合理的配慮は欠かせない。認知の違いによる学習スタイルの多様性を図ることが大切である。そのためにも、全教職員で共通理解し、合理的な配慮がなされる必要がある。</li> <li>・ 学力向上や学習意欲の促進に効果があるといわれているICTを活用した授業の推進に期待したい。</li> <li>・ 学校行事を積極的に参加し楽しんでいるようである。文化祭の発表などで団結して様々な取組をすることは大切である。</li> <li>・ 夜間定時制のため、地域との連携は容易ではないと思う。できることからやっていけば良い。</li> </ul>
----------------------------------	---

<p>次年度に向けた改善の方向性</p>	<p>[基礎・基本を重視した学習指導の充実]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 主体的な学習態度を育成し、積極的に質問ができる授業改善を図る。</li> <li>(2) 達成感や自己肯定感・自己有用感が実感できるように学習指導の工夫・改善を図る。</li> </ol> <p>[コミュニケーションを大切にした生徒指導の充実]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自己の内面や生活状況等を生徒が相談しやすい環境づくりをする。</li> <li>(2) 人権感覚や規範意識の向上を目指す取組を実践する。</li> </ol> <p>[生徒一人ひとりの個性を尊重した教育活動の推進]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の主体的な活動を引き出す環境を作る。</li> <li>(2) 低学年次より、卒業後の進路を見据えた進路指導を充実させる。</li> </ol> <p>[家庭・地域から信頼される学校づくりの推進]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保護者との連絡を密にし、保護者と連携して課題解決にあたる。</li> <li>(2) 生徒各々に応じた適切な支援を充実させる。</li> </ol>
----------------------	---